

《課題名》

重症急性膵診療の医療費上昇における予後因子と Walled-off necrosis(WON)

《研究対象者》

2010年7月から2018年10月までに滋賀医科大学附属病院消化器内科で重症急性膵炎と診断された方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただきず、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

研究課題名：重症急性膵診療の医療費上昇における予後因子と Walled-off necrosis(WON)

研究期間： 承認後（2019年6月13日）～2023年12月31日まで

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 消化器内科 稲富理

（２）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

重症急性膵炎(SAP)の診療においては、その重篤な病態から集中治療を行う必要があります。その診療における問題点は急性期の治療のみならず、後期合併症に関する治療をどのようにおこなっていくかあるいはどのように予防するかが救命には必要です。重症度があがることで、入院期間が長くなり、投与する薬剤や治療に必要な処置の増加することで医療費の増加が現在問題となっています。今回 SAP に関連する医療費の上昇がどの因子によって起こっているかを調べることで、今後の医療費削減につながると考えられます。

（３）研究の方法について

《研究の方法》

2010年7月から2018年10月までに重症急性膵炎と診断された方について、医療費と発症から治療開始までの時間、来院時予後因子、来院時 CT Grade, Acute necrotic collection (ANC), WONの有無、予後（死亡）との相関関係（Spearmanの順位相関係数）を検討します。来院時および発症24時間の予後因子と予後の関係も追加で調べます。

カルテより抽出する因子

1. 疾患名
2. 通院日、診断日、診断時の年齢、治療開始までの時間、性別、身長、体重
3. 治療内容
4. 治療成績
5. 既往歴/生活歴
6. 内服歴

7. 血液検査所見：血算、肝機能検査、腎機能検査、血中アミラーゼ値
8. 画像検査：CT 検査、エコー
9. DPC データ、全医療費
10. 予後因子、予後、ANC/WON の有無

(4) 個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用（又は他の研究への提供を）停止することができます。停止を求められる場合には、（西暦 2023 年 12 月 31 日までに）下記（8）にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

新谷 修平（滋賀医科大学）消化器内科 医員

大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学医学部

電話：077-548-2217 FAX：077-548-2217

E-mail：ss0513@belle.shiga-med.ac.jp（日中のみ）